



増尾近隣センター運営協議会役員・理事・部員名簿

◎役員

会長	吉田 稔	福祉・環境部担当
副会長	足立 實	総務・広報部担当
	山本 久	文化・保健体育部担当
会 計	佐藤 秀哉	
	湯上 弘子	
	印東 淳子	
監 査	塚田 裕也	
	森林 徳衛	
	吉見 瑠子	
顧問	友野 忠義	
理 事	石田 進・英	総務部副部長
	小林 敬子	〃
	小林 みつえ	〃
	長田 英郎	広報部部長
	宮原 麟	〃 副部長
	影山 賢三	〃
	渡辺 威正	〃
	千代間 新五	福祉部部長
	木村 賢一	〃 副部長
	小田 慎平	〃
	渡辺 てう子	〃
	小島 栄	文化部部長
	吉沢 栄	〃 副部長
	島村 繁	〃
	高石 進	〃
	高頭 宏信	保健体育部部長
	野澤 靖雄	〃 副部長
	池田 孝治	〃
	宮沢 力	〃
	中沢 嘉保留	環境部部長
	大久保 興一	〃 副部長
	羽柴 雅代	〃
	関口 とよ	〃
総務部	部長 山本 久	松野台自治会
	副部長 石田 進・英	増尾東映自治会
	小林 敬子	松野台自治会
	小林 みつえ	青少年相談員
広報部	部 員 神宮 杉信	増尾町会
	小暮 正廣	東映第二自治会
	石賀 義三	松野台自治会
	古賀 周平	ふるさと会館館長
	浪川 英利	増尾派出所
	部長 長田 英郎	サンパセオ新柏
	副部長 宮原 麟	東映第二自治会
	影山 賢三	第一住宅自治会
	渡辺 威正	南ヶ丘自治会
	部 員 平野 紀子	増尾東映自治会
	迫田 良三	第一住宅自治会
	小菅 功	白鷺町会
	成川 正光	名戸ヶ谷町会
	相沢 義博	南ヶ丘自治会
福祉部	部長 千代間 新五	増尾町会
	副部長 木村 賢一	民生児童委員
	小田 慎平	老連土支部長
	渡辺 てう子	母子福祉推進員
	部 員 森谷 義雄	木戸町会
	藤井 弘光	あざみ町会
	宮下 浩	南ヶ丘自治会
	山本 幸枝	ボランティア
文化部	部長 小島 栄	加賀町会
	副部長 吉沢 栄	増尾町会
	島村 繁	加賀町会
	高石 進	東武なかほら
	部 員 岩立 俊比古	土小PTA会長
	木村 正一	増尾西小PTA会長
	川北 千恵子	土中PTA副会長
	大島 信	土小校長
	大竹 鉄弥	増尾西小校長
	張 替 丁	土中校長
	佐藤 豊	柏南校教頭
保健体育部	部長 高頭 宏信	加賀町会
	副部長 池田 孝治	あざみ町会
	野澤 靖雄	第一住宅自治会
	宮沢 力	白鷺町会
	部 員 岩崎 明	東映二自治会
	南雲 辰樹	サンパセオ新柏
	坂井 進	東武なかほら
	吉田 進	青少年相談員
	桑谷 宗治	消防団
環境部	部長 中沢 嘉保留	増尾町会
	副部長 大久保 興一	名戸ヶ谷町会
	羽柴 雅代	協議会推薦
	関口 とよ	土農協婦人部
	部 員 田中 美知子	増尾東映自治会
	矢作 清康	サンパセオ新柏
	木村 年男	名戸ヶ谷町会
	湯田 裕子	子供育成会
	斎間 敏子	子供育成会

組織の一本化による役員の改選結果について

初夏の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、当協議会は、平成5年度迄は、事業計画・予算案等を審議する協議会と、協議会において決定されたものを実行する運営委員会より構成されておりました。そして協議会長に塚田裕也、運営委員長に吉田稔がその任に当っておりました。

平成6年度の運営協議会において、運営協議会と運営委員会の組織の一本化が議決され、今後名称を『増尾近隣センター運営協議会』として、増尾近隣センター運営協議会役員、理事、部員の左記名簿の構成により運営して行くことになりました。

地域の皆様方より一層のご協力をお願い申し上げます。 会長 吉田稔

増尾近隣センター運営協議会

平成6年度事業計画

事業名	実施時期	担当
視察研修 ※協力事業 近隣センター連絡会議取上げ大会 近隣センター連絡会議講演会	11月 1月 3月	総務部
「広報ふるさと」発行 30号(2面) 6,000部 31号(2面) 6,000部 32号(4面) 6,000部 33号(2面) 6,000部 その他PR事業	6月 9月 1月 4月	広報部
体育祭 腰痛予防体操	10月 2月	保健体育部
文化祭 新春囲碁将棋大会 護美いろはかるた大会(子供・親子)	11月 1月 1月	文化部
ゲートボール大会 シルバー芸能発表大会	10月 3月	福祉部
手賀沼写真展(家庭雑排水対策強化月間に合わせて) 手賀沼船上見学会(家庭雑排水対策強化月間に合わせて) ゴミ体験ツアーと施設見学会 ※協力事業 手賀沼クリーンビクニック ゴミゼロ運動	9月 9月 10月 9月 5月	環境部

平成6年度予算

収 入 の 部		
項 目	予算額(円)	備 考
町会・自治会分担金	250,000	1世帯50円×5,000世帯
柏市補助金	1,900,000	内訳
		事務費 25万
		事業費 110万
		広報費 30万
		研修バス借上げ料 25万
管理委託料	1,777,000	センター管理委託料(市より)
手数料	40,000	自動販売機手数料
電気料	60,000	自動販売機電気料
諸収入	200,000	各種事業参加費、利息等
前年度繰越金	371,045	
合 計	4,598,045	

支 出 の 部		
項 目	予算額(円)	備 考
会議費	150,000	一般会議 7万円
		近隣センター連絡会議8万円
事務費	170,000	
消耗品費	30,000	
印刷製本費	30,000	封筒印刷
通信費	30,000	
交通費	20,000	市内1円500円
電気料	60,000	自動販売機電気料
交際費	60,000	慶弔関係
負担金	50,000	コミュニティリーダー視察他
人件費	1,777,000	センター管理人給料

支 出 の 部		
項 目	予算額(円)	備 考
事業費	2,030,000	
総務部	330,000	
視察研修	300,000	
取上げ大会	20,000	
講演会	10,000	
広報部	550,000	
広報ふるさと発行	500,000	6,000部×4回
写真代	50,000	
保健体育部	380,000	
体育祭	350,000	
腰痛予防体操	30,000	
文化部	520,000	
文化祭	270,000	
新春囲碁将棋大会	70,000	
かるた大会	180,000	
福祉部	150,000	
ゲートボール大会	70,000	
芸能発表大会	80,000	
環境部	100,000	
手賀沼写真展	10,000	
手賀沼船上見学会	30,000	
ゴミ体験ツアー	30,000	
クリーンビクニック	20,000	
ゴミゼロ運動	10,000	
予備費	361,045	
合 計	4,598,045	

新春囲碁将棋大会結果 1/30(日)

囲碁の部 参加者 20名

将棋の部 参加者 17名

の参加があり熱戦が繰り広げられました。

各部・各クラスの成績は次のとおりでした。

〔囲碁の部〕

Aクラス

- 1位 園田育穂
- 2位 古賀成行
- 3位 松本嘉之

Bクラス

- 1位 窪田孝次
- 2位 佐藤秀哉
- 3位 大塚正面

〔将棋の部〕

Aクラス

- 1位 小嶋茂安
- 2位 岡田元次郎
- 3位 並木幹夫

Bクラス

- 1位 吉井武久
- 2位 木村 勝
- 3位 菊川修至



熱戦のよう

護美いろはカルタ大会結果 2/11(金)

柏市環境部 清掃収集事務所が今年始めて作成した、市内小中学生から募集してまとめた「護美いろはカルタ」を増尾近隣センター主催で開催された。

小学生を対象とした初の催しでしたが、1組3名でチームを編成し、計32チーム・96名がトーナメント方式で熱い戦いが行なわれた。

成績は次のとおり

優勝 ばんきんトリオチーム

準優勝 おしるこめあてチーム

3位 なかよしチーム

〃 ベジタブルキッズチーム



頑張りました

柏市新春風揚げ大会

柏市の新春風揚げ大会が、1月23日(日)晴天微風の利根川堤防で多数の参加者で賑いました。

本多市長の挨拶の後、それぞれ持参したご自慢の凧を力を合わせて童心にかえり揚げました。

わが増尾近隣センターの大凧も一瞬の風に乗れ、高度約百米、糸の全長百米と目一杯に揚げることができました。吉田委員長、増尾近隣センター所長、他数名の参加・協力してくれた各委員は喜び一杯で、缶ビールで乾杯し来年の健闘を誓って散会しました。



ゴミゼロ運動実施

関東全地域の方々に道路、公園等に散乱するカン、ビン、可燃物、不燃物を収集して地域の環境美化運動に協力していただくとして定められたものです。

5月30日に最も近い日曜日に実施することになっており、本年はゴミゼロ運動の13周年に当たります。地域の数多くの方々のご協力をいただき誠に有難うございました。厚くお礼申し上げます。

増尾近隣センター収集結果 一般参加、ボランティア団体等 1,910名

◎ゴミ収集量 (1)空カン 76袋 (2)空ビン 15袋 (3)可燃ゴミ 30袋
(4)不燃ゴミ 5袋 合計 126袋



第17回土支部老人芸能発表会

3月27日(日)12時30分より増尾近隣センター体育館に於て盛会のうちに終了致しました。

日頃各地区老人会での練習成果を、カラオケ・民謡・民謡・フォークダンス等が発表され、参加数も23プログラムに達しました。最後は参加者全員による千葉県老連音頭の踊りをもつてしめくりました。



第17回土支部老人芸能発表会会場
老々クラブ土支部老人芸能発表会会場
増尾近隣センター体育館
3月27日(日)12時30分より開催
参加者全員による千葉県老連音頭の踊り

運営協議会広報部編集風景

新しく選任された広報部のメンバーは早速「ふるさと30号」の編集に取り組み、全員の未経験者ばかりで、最初の編集会議ということもあり、吉田会長、山本、佐藤両副会長のアドバイスと指導により何とか6月発行ができました。

これは、悪戦苦闘している部員のスナップ写真です。

